



明倫の里 城北 ともしび

発行・城北コミュニティ 丸亀市御供所町一丁目5番20号
城北コミュニティセンター「明倫」☎25・2141

城北地区人口	
世帯数	2,681 (+10)
人口	5,664人(+28)
男性	2,626人(+12)
女性	3,038人(+16)
(令和3年6月1日現在)	
(カッコ内は令和3年5月1日比)	

令和3年コミュニティ総会 コロナ禍のため書面採決

「令和3年城北コミュニティ総会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面での採決となりました。

今年度の提出議案は、令和2年度事業報告▽収支決算及び会計監査報告▽令和3年度事業計画案

▽同収支予算案▽会則変更▽コミュニティセンター管理運営会計―で、いずれも賛成多数で可決しました。

令和3年度主な事業

【総務部会】

住民との「ふれあい」「活性化」を進めるため、ほくほくまつりと明倫まつりの見直し開催、全体研修会の実施、PTA役員との意見交換会の継続、コミュニティバス

は使い易くなるよう市と協議、買い物支援の開始、コミュニティスクール制度（学校と地域住民、PTAで力を合わせて子ども達を育成）への協力、代議員、部会員を増員する。

【広報部会】

「広報紙」ともしび」を年4回発行し、地域の皆さんの活動や情報を掲載するとともに、読みやすい内容と紙面づくりに取り組み、ホームページや「城北防災」のツイッターによる随時情報を発信する。

【文化部会】

音楽療法士による音楽活動事業（年5回程度）、教養講座の実施、くらしのセミナーは丸亀に関係があり、生活に密接した身近な内容とし、受講者の増員を図る。

【福祉部会】

高齢者や障害者、児童に対する適切な対応、「要支援者」に対する災害発生時の対応力の強化、複雑・困難化している福祉課題解決に向けた地域への協力・参加意識の向上に努め、独居老人への花鉢プレゼントや福祉施設作業奉仕などに取り組み。

【環境部会】

防犯パトロール隊活動や清掃活動など、地域の安全・環境美化に向けた継続的な事業推進、地域の安全マップづくり、地域のみんなで安心安全活動などを推進する。

【保健部会】

健康ポイント制度を中心に事業展開し、ポイント対象事業（学校支援や事業準備ボランティアもポイントの対象）の周知、個別の検診や予防接種受診の声かけ、若い世代や男性の参加を推進し、健康相談、健康教室などを開催する。

【体育部会】

スポーツを通じて、明るく健やかな交流活動の推進、家族ハイキング、ペタンク大会、チャレンジ卓球大会、ボウリング大会、新春おめでとうウオークなどを実施する。

令和3年度収支予算 (単位:円)		
収入の部	前期繰越金	1,467,485
	市助成金	2,404,800
	社協助成金	652,000
	助成金	0
	移動支援事業補助金	2,150,000
	雑収入	15,715
	合計	6,690,000
支出の部	事業費	3,448,000
	総務部	1,456,000
	広報部	407,000
	文化部	120,000
	福祉部	441,000
	環境部	300,000
	保健部	384,000
	体育部	340,000
	運営費	750,000
	助成事業	242,000
	移動支援事業	2,150,000
予備費	100,000	
	合計	6,690,000



城北コミュニティ役員

会長 長 砂本 健
副会長 長 石原 憲
事務局 長 竹本 忠司
総務部 会長 大塚 健吉
広報部 会長 高畑 玲子
文化部 会長 三谷 正英
福祉部 会長 池内 芳久
環境部 会長 竹本 忠司
保健部 会長 中野実千代
体育部 会長 林 紘史
会計 小亀 修
監事 粟谷 葉子
監事 北本多壽子
書記 若松 幸代
書記 片山 和雄
顧問 鈴木 巖
相談役 川田 匡文

人権豊かな社会へ

昨年、アメリカで白人警察官による黒人男性暴行死への抗議のデモが各地で行われました。

人権を重視するアメリカに黒人差別が現在もあることは残念なことですが、このデモの報道のな

かに人権問題解決への兆しを感じました。

それは、非常に多くの白人が抗議デモに参加していたことです。

約60年前の公民権運動のデモでは約80%が黒人でしたが、昨年の抗議デモでは約65%が白人で、黒人は約15%でした。

黒人差別に対して黒人だけでなく、白人からも多くの抗議の声が上がっていることが、人権意識の広がりと、問題解決への希望が見えます。

(市人権課 平田)



4月1日号でお知らせしたバス停がこの度開設しました。バス停名は「東汐入川けんこう公園前」です。時刻表は丸亀東線(紺色の字)をご覧ください。便利になりましたのでみなさんご利用ください。

学校支援は6月開始

コロナ禍はまだ収まっておらず変異ウイルス感染症が増え、今年度の支援の見通しは不透明です。そんな状況下感染防止のため、恒例の対面式は5月25日に放送室からテレビ放送で実施しました。支援内容は昨年度とほぼ同様ですが、1・2年生のプール使用時の支援が追加となり6月1日より開始します。

支援ボランティアを継続して募集しています。連絡先 ☎25・2141



テレビであいさつ

一人住い高齢者の友愛訪問実施

4月7日から約1ヶ月間に、一人住い高齢者宅(約450世帯)を訪問し、安否確認と困り事相談を行いました。

全員に、持参した「お菓子」を手渡し、日常に不安を感じていることなどの解消に務めました。



お元気でなにより

このような声かけ、見守り活動でみなさんと顔をあわせ喜んでいただき笑顔を見ることが、我々民生児童委員17人も嬉しく感じる時です。(福祉部会)



ツタンカーメンのエンドウ豆



1922年エジプトのツタンカーメン王の墓が発見されたのはみなさんご存じのことと思います。その副葬品から発見されたエンドウ豆の種子が、1956年日本に上陸しバイオ技術で発芽し日本各地で栽培しているそうです。5月の一時期、産直で見つけました。真偽はともかく、3000年以上前の種子と1000年前からの技術を古代エジプトの世界を体験するようなロマンを感じて豆ごはんをいただきました。

交通安全協会の活動

交通安全協会は、協会への入会金等で運営されており、現在、丸亀市には17の支部があります。城北支部では、理事5人と代議員5人の10人が役員として選任され、毎月20日の交通安全の日、年末年始及び春と秋の全国交通安全週間での交通安全立哨や、各種キャンペーンへの参加・広報車の乗務等により交通徳の向上と交通事故防止の活動をしています。



免許の更新時には、安全協会への入会依頼がされていますので、次回の

免許更新時には、安全協会にご入会いただき交通安全活動への一層のご協力をお願いいたします。

防犯パトロール隊の活動

城北防犯パトロール隊は、子ども達の安全安心のため、登下校時の見守り活動を、毎日行っています。また、登下校時とは別の隊員による自主的なパトロール活動も行われています。土居、風袋、瓦町周辺を健康づくりも兼ねて歩きつつ、不審者やゴミの不法投棄などパトロールしています。

隊員は毎年子どもたちと顔合わせのため対面式を行っています。昨年と今年はコロナ禍のため中止になりました。しかし隊員と子どもたちとは毎日顔を合わせているのでわかってもらっています。これからも安全・安心なまちづくりのため地域の隊員



のご協力と子どもたちの笑顔に元気をもらいながら、活動していきます。(環境部会)

ご案内

ソフトバレーボール大会 女子の部

開催日 7月4日(日)

9時試合開始

集合場所 城北小体育館
内容 4人制にて、

約9チーム参加予定
※感染症対策を万全にして開催したく思います。

夏恒例ラジオ体操

ラジオ体操の予定をお知らせします。ことしはオリンピックの期間に8月8日(日)に行います。

せっかくの機会なので多くのみなさんの参加をお待ちしています。

場所 コミュニティセンター 駐車場
詳しくは自治会回覧版でお知らせします。(体育部会)

バランス料理(保健部会)

日時 7月10日(土) 10時開始
場所 コミュニティセンター調理室

参加費 200円米半合
参加申し込み締め切り 先着14人

※今年度も調理器具は開始前に熱湯消毒。マスク、ゴム手袋着用で実施。用意した弁当容器に入れて持ち帰り試食。
※献立はでき次第、センターに掲示します。

6月より、ガン検診・国保特定健診・後期高齢者健診が始まっています。早めに受診しましょう。

健康教室

日時 7月28日(水)

13時30分～14時30分

場所 コミュニティセンター 大会議室

内容 「新型コロナウイルス感染症対策」
〈今、みんなが気になること〉

講師 健康課 山田優菜保健師
参加申し込み締め切り 7月25日(日) 先着40人



この花は、この辺りで咲くのは珍しい「アボカド」の花です。富士見町で見つけました。

植えた方は食べた後の種を植えてみたところぐんぐん伸びて、びっくり！実は成るのかな？

市と地域をつなぐ 地域担当職員

令和3年度の城北コミュニティセンターと市役所とのパイプ役を担う地域担当職員を紹介します。

■まちづくり担当

新名浩幸（建設課）

菅原颯太（住宅課）

※コミュニティ各種会議

への出席・情報提供・意見等の収集

■防災担当

近藤光洋（農業委員会事務局）

※災害発生時における地域と市本部と連絡調整

■保健担当

山田優菜（健康課）

※各種検診・健康相談等

赤十字会費お礼

本年度は、121万7000円の会費が寄せられ日本赤十字社丸亀支部へ活動資金として納めました。ご協力ありがとうございました。

（城北婦人会）

城北コミュニティだより「ともしび」編集・広報部会
年間4回発行（1月、4月、7月、10月の各1日付）

避難情報の変更表

避難情報は災害の危険度が高い順に、警戒レベル5〜1に発表されます。避難時は冷静な判断が難しくなります。家族の状況などに応じ、どのタイミングで、どこに避難すべきか、徒歩と車のどちらが安全かなど初期の問題をあらかじめ家族で話合っておきましょう。

◀避難情報はこう変わった

警戒レベル	状況	行動を促す情報	
		新	旧
5	災害発生または切迫	緊急安全確保	災害発生情報
～レベル4までに必ず避難！～			
4	災害の恐れ高い	避難指示	避難指示（緊急） 避難勧告
3	災害の恐れあり	高齢者等避難	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報	
1	今後、気象状況悪化の恐れ	早期注意情報	

地震直後の5分間 すべきこと覚えて！

万一、大きな地震が起きたら、揺れている最中の身の安全確保と、揺れが止まったあと「家族の様子の確認」「消火」「近隣の人たちの助け合い」が重要なポイントになります。

日頃から、次のなすべき行動をしっかりと覚えておきましょう。

≡地震発生0分

- ・机の下などにかくれる（身の安全）
- ・火を使っていたらすぐに消す（火事を起こさない）
- ・ドアや窓を開ける（脱出口の確保）

≡1〜2分後

- ・揺れが収まったら
- ・出火していたら直ちに消火（初期消火）
- ・家族の様子を把握
- ・避難の必要があるときは靴をはく（ガラス等

の破片対策

≡3分後

- ・状況に応じて屋外へ避難
- ・ガスの元栓を閉め、コンセントを抜く
- ・頭を保護し、落下・転倒物に注意

≡5分後

- ・近所との連携
- ・消火作業
- ・行方不明者、けが人の確認

この5分間で最も重要なのは、初期消火作業。

大きな火災が起きてしまった場合を除き、自分の家からの出火をまず食い止めましょう。

ライフラインが切断された場合には、救助要請ができないことがあります。

避難した後は、携帯ラジオやスマホで正確な情報を入手しながら、近隣の人たちが協力し合っ

て、余震、火事などの二次災害に対処しましょう。

（防災会）

防災メモ

近年各地を襲っている大水害は「線状降水帯」によるものです。

改正災害対策法

の警戒レベル4の「避難指示」が出れば、すぐに避難を。自分の身は自分で守りましょう。

「過去に大丈夫だった」は避難しない理由にはなりません。（防災会）

あとがき

7月19日は「海の日」で祝日となっているカレンダーがある。これは誤りで「海の日」は22日（木）へ、10月の「スポーツの日」は23日（金）へそれぞれ祝日が移動する。オリンピック開催の特例措置で土日を含め4連休となる。これにより公共機関の休日も変更となるので注意が必要。

ともあれコロナ禍の中、オリンピック無事終了を願うばかりだ。（福崎）

「城北コミュニティセンター」の名称を「ともしび」の紙上では「コミュニティセンター」と表記しています。